

6月定例会市議会開く

河田新市長の所信表明に 対する主な質問と答弁

平成十八年六月定例会市議会は、七月三日から七月十八日までの十六日間の会期で行われました。

今期定例会市議会は、市長が当選されて初めての定例会であり、今後の市政に対する所信表明が行われたほか、市長から平成十八年度一般会計等補正予算など十六件が提案され、いずれも原案のとおり可決・承認・同意されました。

また、議員からは、意見書二件が提出され、原案のとおり可決されました。

市長の所信表明の要旨及び八人の議員によって行われた質問は次の通りです。

所信表明(要旨)



初議会で所信表明を行う河田市長

私の政治姿勢は公正・公平・清潔であり、生きがいと活力ある羽生をつくるため全力でこれに取り組み、市民の信用・信頼にこたえてまいりたいと思う。市長としての私の役割は市民が市の財政事情を理解した上で、自分達のまちづくりをどのように進めていくかを導くことである。こ

のため「市民参加、市民参画、市民協働」を基本理念とし、市民と行政のパートナーシップ構築による行政経営を最大目標にしたい。そのために次の三項目を掲げる。

第一に自治会等を中心に住民同士が議論をし、ニーズを集約し、これを吸い上げる仕組みの構築、第二に納税者の視点から情報を提供し、サービスの再構築を行った上で、その供給方法を市民とともに考える行政評価制度の構築、

第三に地域の福祉や防災防犯等まちづくりの円滑な推進のため、身近なコミュニケーションの再編を行う。

さらに市政の流れを変えるため実現したい項目として、次の施策を進めたい。

「子育て等福祉・教育の充実」
少子化対策として、子育て

家庭への支援体制の整備、子供の健全育成への支援、高齢者に対して学習・憩いの場の創出、障害者への支援体制の強化、児童生徒の学習支援、教職員の事務量の軽減・教育予算の確保。

「安全・安心のまちづくり」
防犯について、藍のまちパトロール隊、スクールボランティア等住民主導の活動支援、防災について自主防災の組織化、中川河道改修、調節池整備の推進。市内循環バスの存続。

「地域産業の活性化対策」
羽生版「農業農村基本計画」を策定し、地域の担い手が支える集落営農体制の構築を図る。アパレル産業について、デザイン力の強化とともに藍染めを活用し羽生ブランドの開発に取り組み。

「行財政改革の推進」

市長の給料・退職金を20%削減、助役・教育長の給料の10%削減、市長交際費の100%公開及び市長マニフェストの半年毎の実施経過の公開。当分の間職員を採用を控え、組織体制を整備するとともに、庁内プロジェクトチームを設置し施策の推進を図る。

議会の詳細は 市議会会議録 をどうぞ

「羽生市議会だより」は、毎年四回開催される定例会ごとに本会議で行われた一般質問や議案質疑の主な内容、答弁などをお知らせしています。なお詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、市議会で発行している「羽生市議会会議録」をご覧ください。

平成十八年六月定例会までの会議録は市議会図書室(市役所四階)、市立図書館、各地区の公民館に備えつけてあります。

また、本年度から市議会会議録が、ホームページでも閲覧できるようになりました。

平成八年からの会議録がご覧になれますので、ぜひご利用ください。